



2023年11月14日

各位

会社名 株式会社 ラキール
代表者名 代表取締役社長 久保 努
(コード番号: 4074 東証グロース)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 古川 勝博
(TEL. 03-6441-3850)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で開示した2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,409	百万円 901	百万円 894	百万円 567	円 銭 74.39
今回修正予想(B)	7,658	783	780	510	66.74
増減額(B-A)	△751	△117	△113	△57	
増減率(%)	△8.9%	△13.1%	△12.7%	△10.1	
(参考)前期連結実績(2022年12月期)	6,880	772	731	467	61.30

2. 修正の理由

プロダクトサービスの売上は、第2四半期に見込んでいたライセンス販売の受注が遅れたこと等により、サブスクリプションとコンサルティングサービスの新規案件の開始時期が遅れ、当初予想を下回る見込みとなりました。プロフェッショナルサービスの売上は、既存システムの保守案件を中心にリカーリング売上が順調に拡大するも、当初予想からやや遅れて進捗しております。

一方、足元では当社顧客企業のDX投資への関心は依然として高く、第4四半期(10月から12月)では当初予想以上の新規ライセンス販売が見込まれております。これにより第3四半期までの進捗遅れを一部挽回できるものの、通期の連結売上高については当初予想を下回ることが想定されるため、業績予想を修正いたします。

また、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、ライセンス販売やコンサルティングサービスの売上予想修正に伴う利益の減少を見込んで予想数値を修正いたします。

※上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上